

トピックス

高速シートシャッター

エコマーク認定対象製品に

財団法人日本環境協会エコマーク事務局は、高速シートシャッターを空調などの省エネに寄与する製品として新たにエコマークの対象とすることを決定した。これにより、各メーカーがエコマークに適した製品を同協会に申請し、認定された製品についてエコマークの表示が可能となる。

現段階でエコマークの認定を受けた製品は、三和シャッターの「クイックセーバーフレクシールSR」、

「同SR1F」「同SR1W」、
「同SR1N」(抗菌シート、
メッシュシートは除く)、
小松電機産業の門番「GF
05」20型「KV11」51型
「WV31」41型「SV26」
41型、ユニフローの「ス
ムザーRBシリーズ」、
文化シャッターの「エアキ
ーパー大間迅シリーズ」な
ど。各社は、エコマーク認
定を絡めて開口部の環境提
案を進めていく考えである。

①製品は、高速かつ高頻
度な開閉が可能な構造によ
り、温度差や風などによる
開口部からの空気の流出入
量を最小限に抑えられるこ
と。製品の開閉速度は0・
5m/s以上、開閉頻度の
仕様は60回/h以上である
こと。

②製品の閉鎖時の開口部
からの熱損失が少ないこと。
製品の気密性能は、JIS
A4702(ドアセット)
に定める気密性等級のA-
1等級に適合すること。

③製品の主要構造部品の
プラスチック部分
(電装部品は除く)
は、重金属など有
害物質の溶出につ
いて、土壌汚染対
策法施行規則のカ
ドミウム、鉛、六
価クロム、ヒ素、
水銀、セレンに関
する基準に適合す
ること。

④製品の保守点
検を請け負う体制
を整えていること。また、
シートなどの定期交換部品
は、回収した後に可能な限
りマテリアルリサイクル・
再資源化を行い、再資源化
できない部分は適正な方法
で処理・処分すること。

⑤製品は、施工、使用、
維持・管理、解体、廃棄、
再資源化など、製品のライフ
サイクルに関するマニユ
アルを有し、施工者及び建
築物の所有者が閲覧できる
こと。

⑥申込商品の製造にあた
って、最終製造工程を行う
工場が立地している地域の
大気汚染、水質汚濁、騒音、
悪臭、有害物質の排出など
に適合していること。

⑦品質は、該当するJIS
規格及び高速シートシャ
ッター技術標準(日本シャ
ッター・ドア協会策定)に
適合していること。



小松電機産業の「門番」